

カンボジア国道路・橋梁の維持管理能力強化プロジェクト

プロジェクトニュース (2016年8月)

過積載車両対策 (7/17~8/14, 2016)

本プロジェクトでは、過積載車両対策に係るパイロットプロジェクトを実施予定であり、それに先立ち、関連設備の整備を行った。カンボジア国では、過積載車両による道路・橋梁の損傷が深刻になっている。JICA 無償基金協力事業により 2015 年に開通した「つばさ橋」周辺では、公共事業道路省 (MPWT) が独自に移動式軸重計等により過積載車両の取り締まりを実施しているものの、①車両重量測定設備の不備、②事務所の不備等により十分な取り締まりができていない。これらを踏まえ、本プロジェクトでは、従来の移動式軸重計よりも迅速に車両重量を測定することが可能な軸重計を供与し、関連施設を整備することとした。その第1段階として、関連施設の整備を行った。



図-1 車両測定設備の不備

車両測定に必要な幅 (3m 以上) が確保できず、木製デッキにより段差補正をしている。(車両が車道にはみ出してしまうため危険。)



図-2 車両測定設備の整備

アスファルトオーバーレイ (延長 50m、幅 2.5m、50cm) による拡幅工事を行い、測定が可能な幅 (3m) を確保しかつ段差を解消した。



図-3 関連施設の不備

計測設備周辺に事務所が設置されていないため、軸重計の充電およびメンテナンスが出来ず、十分な連続測定ができない。



図-4 関連施設の整備

40ft (12m) のコンテナハウスを設置した。これにより①軸重計の充電、②急な雨への対応、③測定者の休憩場所の確保が可能となり、長時間連続測定が可能となった。